

酒田市環境保全実行計画 平成 18 年度年次報告書

地球温暖化とは？

地球は、太陽光により温められ、同時に赤外線を出して熱を宇宙に逃がしています。二酸化炭素などの温室効果ガスはこの赤外線を吸収して、宇宙に逃げる熱を再び地球上に返す働きをしています。

産業革命以降、私たち人間の活動が原因で大気中の温室効果ガスが増加し、地球温暖化が懸念されるようになりました。

地球温暖化がすすむと、生態系の変化、豪雨や干ばつの増加、海面上昇による海岸侵食、水資源や農業生産の減少などの問題が心配されます。

1997年、地球温暖化防止京都会議で採択された京都議定書で、日本は1990年と比較して2008～2012年の間に6%削減することを約束しています。

地球温暖化を防止するためには、私たち一人ひとりが省エネをはじめとして温暖化防止活動を実践し、温室効果ガスの排出量を削減することが必要です。



酒田市役所の取り組み

「酒田市環境保全実行計画」(平成18年3月策定)
市の事務事業から排出される温室効果ガスの排出量を削減し、環境への負荷を低減するために「酒田市環境保全実行計画」を策定しました。

この計画の目標として、平成18年度から平成22年度までの5年間で市の事務事業から排出する温室効果ガスの量を5%削減(基準年:平成16年度)することを目指しています。また、環境への負荷も低減するために、物品等を購入する際に環境に配慮したものを選択する「グリーン購入」を推進していくことを目指しています。

酒田市役所の目標

「温室効果ガスの排出量を5%削減します。」
(基準年:平成16年度)

「グリーン購入を推進します。」

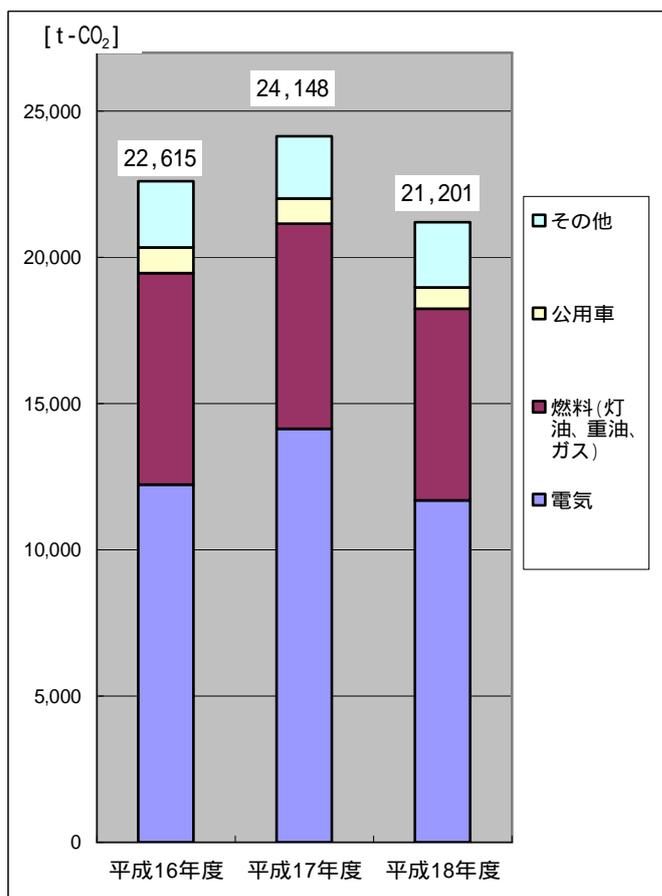
平成18年度の温室効果ガス排出量

平成18年度の温室効果ガス排出量は、平成16年度と比較して6.3%削減されました。

排出量が削減された主な原因は、全体の大半を占める電気、灯油、A重油の使用量が平成16年度に比べて大幅に削減されたためです。

平成18年度は16年度に比べ、夏は涼しく冬は暖かい傾向にあり、その影響もあるものと思われませんが、職員や施設の利用者の取り組みの効果が出ています。

市の事務事業からの温室効果ガス排出量



(比較のため、平成18年度に廃止等のあった施設については平成16年度の数字から除いています。)

温室効果ガス排出係数について

電気の使用に係る温室効果ガス排出係数については、東北電力が年度毎に公表している値(平成16年度:0.438kg-CO₂/kWh、17年度:0.512kg-CO₂/kWh、18年度:0.441kg-CO₂/kWh)を用いています。

都市ガスについては18年度に熱量変更が行われた関係で、排出係数についても従来の0.95kg-CO₂/m³から2.32kg-CO₂/m³に変更しています。

目標の達成に向けて

平成 22 年度までの目標の達成に向けて、今後ともエネルギー使用量の節減と、環境への負荷の低減に取り組んでいきます。

特に、温室効果ガス排出量の大半を占める電気使用量については、待機電力などに注意することでまだまだ節減が可能です。また、気候に左右されやすい燃料の使用についても、クールビズやウォームビズをはじめとした冷暖房に頼りすぎない職場環境作りを推進することで、18 年度と同等の使用量に抑えていくことが重要です。

今後は以下の様な取り組みをしていきます。市民のみなさまにおかれましては、市の環境保全に関する取り組みにご理解とご協力をお願い致します。

電気

・照明はこまめに消します。

今後は特に、休み時間や時間外など、人のいない時間帯にも注意します。

・電化製品・OA 機器を適正に使用します。

長時間使わない機器は電源を切るのももちろんですが、今後は待機電力の削減にも注意します。

また、パソコンなど節電機能の設定ができる機器については、設定を有効に活用します。



燃料

・ガス機器の使い方に気をつけます。

ガスコンロを使うときに火力を常に最大にしてはムダになりますので、やかんなどの大きさに合わせてこまめに調節をします。給湯もなるべく低温で行います。

・冷房時の室温は 28 、暖房時の室温は 20 冷暖房に頼り過ぎない職場環境をみんなで作っていきます。

公用車

・エコドライブで安全運転を。

時間と気持ちにゆとりを持ち、ふんわりアクセルを心がけます。

地球温暖化の防止に向けて

～私たち一人ひとりが主役です～

地球温暖化を防止するためには、私たち一人ひとりがそれぞれの立場で防止対策を実践していかなければなりません。

でも、最初から地球のためががんばろうと考えると、問題が大きすぎて自分がしていることの効果も目に見えないので、長続きするのはなかなか難しいのではないかと思います。

では、例えば省エネならどうでしょうか。これなら自分のお財布にも効果が現れるので、実践したことが実感できます。

「やって得する、楽しい省エネ」

省エネは一度始めるとすぐにクセになります。まずははじめの一步を踏み出してみることが大切です。

次の例を参考に、みなさんも一緒に楽しみながら省エネに取り組んでみましょう。

- ・冷房時の室温は 28 、暖房時は 20 に。温度調節をこまめにする。
- ・使い終わった電気製品は主電源を切る、コンセントを抜く。
- ・照明はこまめに消灯する。
- ・給湯温度はなるべく低くする。
- ・お風呂は家族が時間を空けずに続けて入るようにする。
- ・一家団樂し、みんな同じ部屋で過ごす。
- ・エコドライブを心がける。
- ・買い物にはマイバッグを持参する。
- ・ごみの減量、リサイクルの推進を心がける。

平成 18 年度のグリーン購入実績

平成 18 年度は、国等による環境物品等の調達方針に倣い、環境に配慮した物品の調達に取り組みました。

全体としての成果は、グリーン購入率は 95.5% (物品の購入数を基に計算) となり、積極的にグリーン購入が推進されました。

-酒田市環境保全実行計画 平成 18 年度年次報告書-

< お問い合わせ >

〒998-0104

山形県酒田市広栄町三丁目 133 番地

酒田市環境衛生課

TEL:0234-31-0933 FAX:0234-31-0932

E-mail:kankyo@city.sakata.lg.jp